

お知らせ

洪水を安全に流下させるために 筑後大堰のゲートを全開しました

- 概要** 筑後大堰では、梅雨前線の影響による洪水を安全に流下させるために、平成30年7月5日17時20分にゲートを全開にしました。
～今回の出水は、筑後大堰管理開始以降、2番目の堰地点最高水位でした～



- 状況** 【雨量状況】 ※速報値
瀬ノ下上流域累計雨量：389mm（7月4日20時から8日14時）

【河川状況】 ※速報値
大堰直下流量：毎秒約5,500立方メートル（7月5日5時）
堰地点での水位：T.P. + 7.31 m（7月7日5時）
（管理開始以降第2位）

【操作状況】 ※速報値
洪水時（ゲート全開）開始：平成30年7月5日17時20分
洪水時（ゲート全開）終了：平成30年7月8日10時30分
（ゲート全開）操作時間：65時間10分

※印は、速報値であり変わる場合があります。

なお、今回の全開操作は、昭和60年4月の運用開始より126回目（今年度は2回目）となります。

洪水時のゲート状態(ゲート全開)



ゲート全開操作開始後の筑後大堰（堰上流側から望む）

7月5日18時撮影



ゲート全開操作開始後の筑後大堰
(堤防高と同じ位置にゲートを引き上げました。)

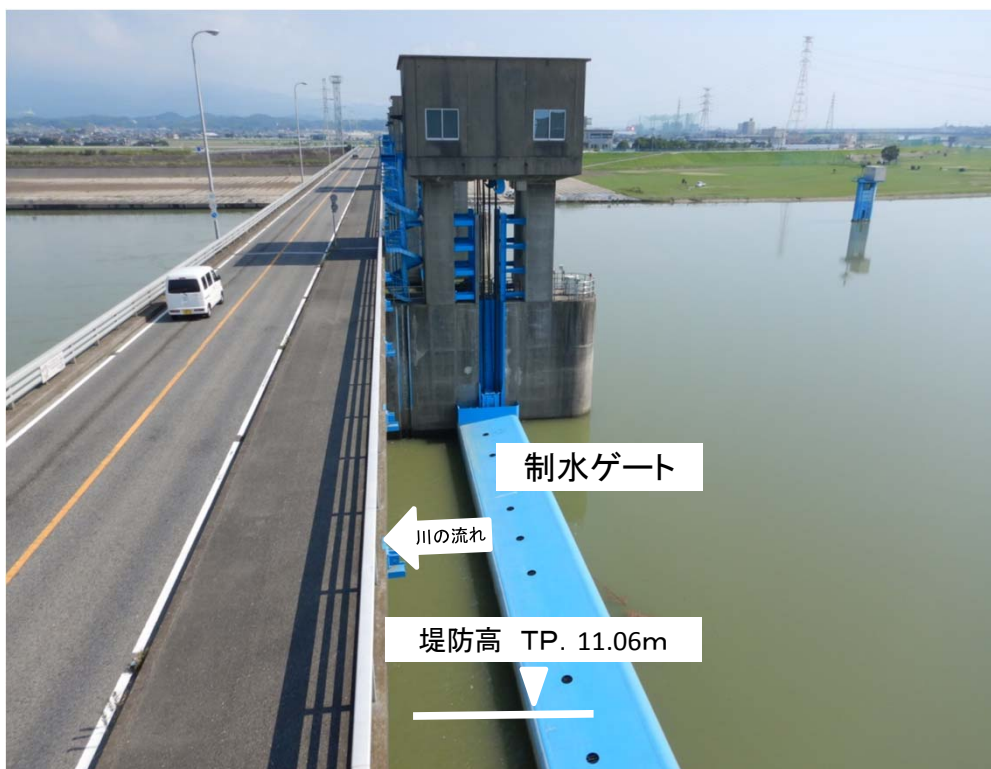
7月5日18時撮影

平常時のゲート状態



ゲート全開操作終了後の筑後大堰（堰上流側から望む）

7月12日9時撮影

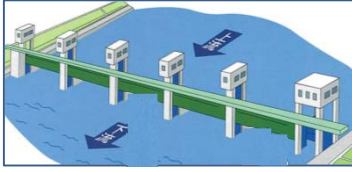


ゲート全開操作終了後の筑後大堰

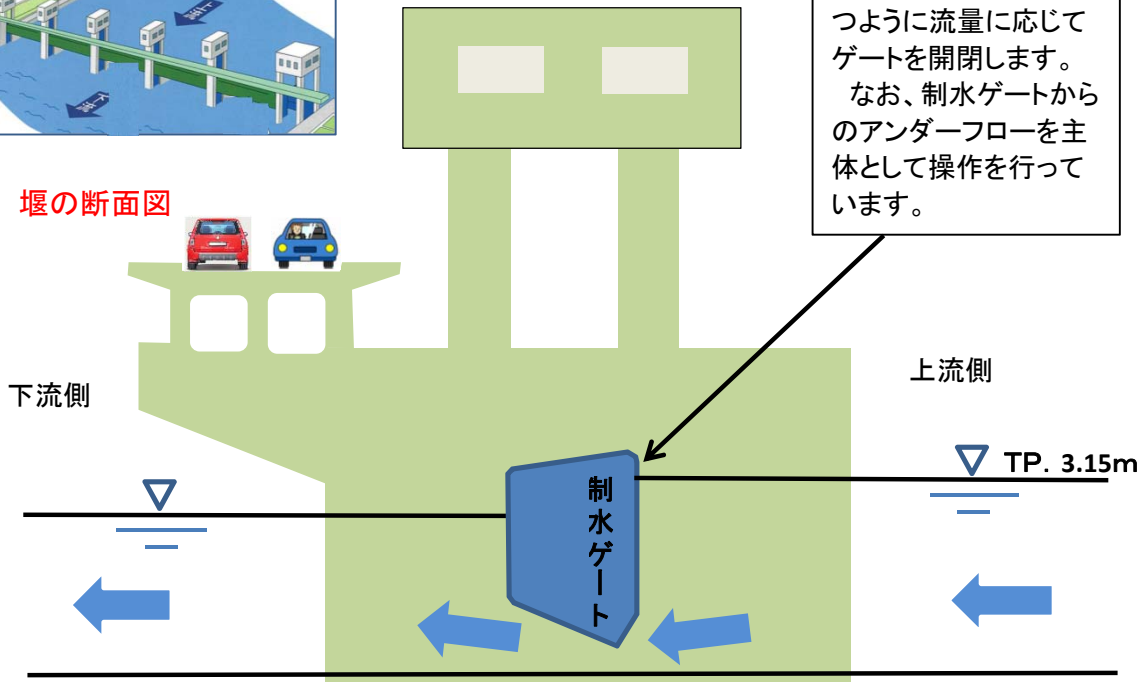
7月12日9時撮影

平常時のゲート状態 (アンダーフローの模式図)

筑後大堰(イラスト)

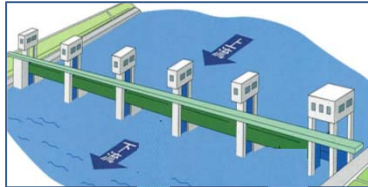


堰の断面図

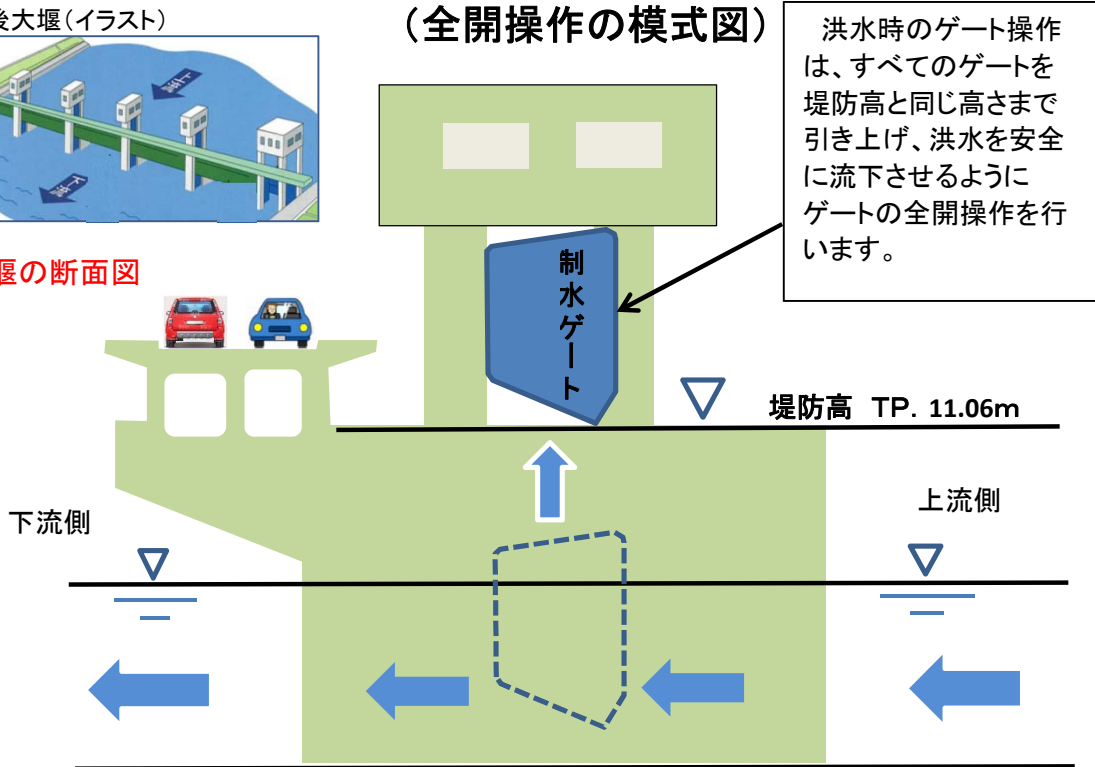


洪水時のゲート状態 (全開操作の模式図)

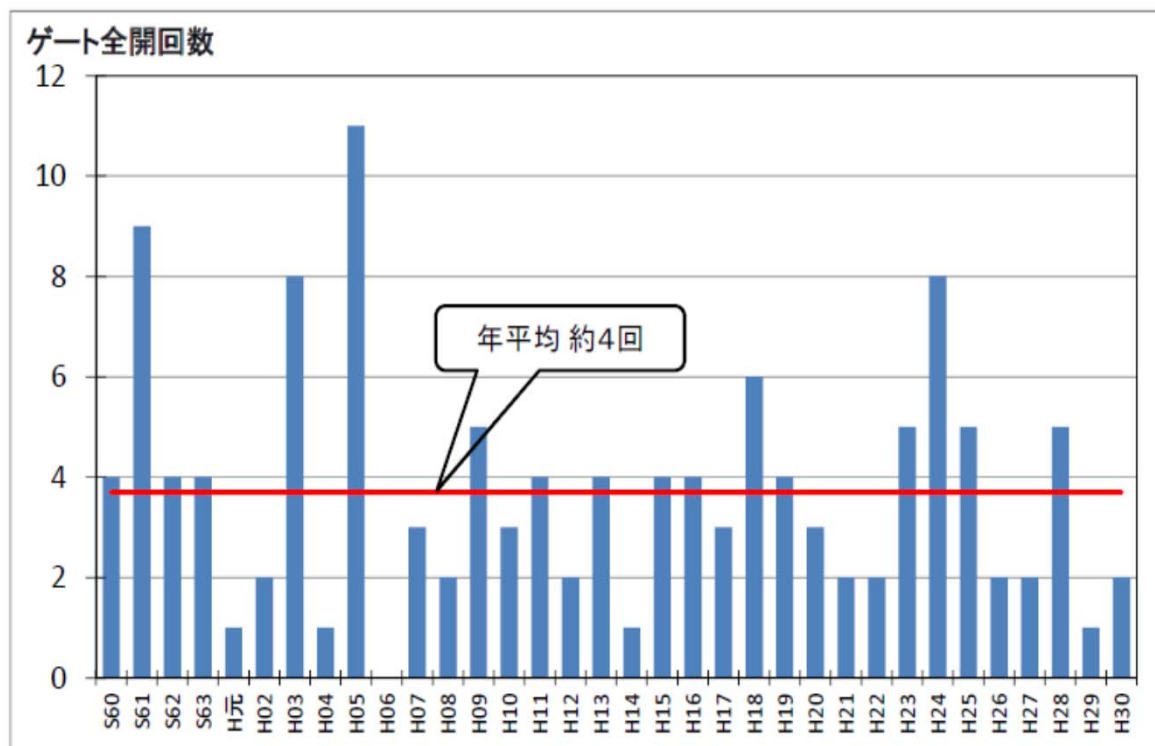
筑後大堰(イラスト)



堰の断面図



【筑後大堰における管理開始以降後の年別ゲート全開操作回数】



※ H30は7月8日までの回数です。(暫定)

【管理開始後最大】

運用開始以降最大の出水は、平成24年7月九州北部豪雨による洪水であり、瀬ノ下地点で毎秒約5,900立方メートルの流量を観測しています。

【管理開始後の順位】

出水記録

筑後大堰地点の管理開始からの最高水位上位5		
1位	T.P 7.58m	(H24.7)
2位	T.P 7.31m	(H30.7)
3位	T.P 6.59m	(H2.7)
4位	T.P 6.57m	(H29.7)
5位	T.P 6.31m	(S60.6)

(T.Pは東京湾平均海面水位からの高さ)